

ちがう人間に同じ扱いをするのも差別だよ

塾の先生

「差別」という言葉を色んなところで見かける。授業であつたりテレビであつたり。はたまた子ども達も軽々しく使つたりする。この「ことば」はそういう軽い空気のさなかで聞いた。どういふことか当時はよくわからなかつたけど強烈で、あれから二年後の今までずっと考えさせられている「ことば」だ。

それまでの私の認識ではひいきとか、「同じ扱いでないこと」が差別だつた。でもそれだけじゃないと考えるようになった。一人ひとり好みの扱われ方は違ふ。人種差別とかいふ話なら別だけれど、自分の意思にそぐわない扱われ方であつても平等だから良いでしょといふのは横暴だと思ふ。複雑に単純で対応する奇妙さを考えさせられる「ことば」である。

受賞にあつて

受験生だつた当時、人との差異を感じたり、様々なことで頭がいっぱいになつたりしてしまつた。でも、塾の授業中の何げない会話の中でたまたま「差別」といふ言葉が出てきたときに先生がさらつと言つたこの言葉を聞いて救われました。二年経つた今でも心に残る深い言葉をくれた先生は、私にとって一番の恩師です。先生には「ありがとうございます」とお礼が言いたいです。